

2022年7月25日

町田市長 石 阪 丈 一 様

町田市廃棄物減量等推進審議会
会 長 山 下 英 俊

2021年度第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画の
進捗点検の結果について（報告）

2022年度第1回（2022年5月16日開催）、第2回（2022年7月25日開催）町田市廃棄物減量等推進審議会において、2021年度の第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画およびアクションプランについて進捗点検を行いました。その結果を、下記のとおり報告します。

記

2021年3月（2020年度）に策定した「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画」では、2030年度までの全体目標として「1人1日当たりのごみ排出量を2019年度比で7%削減すること」「総資源化率を40%まで高めること」「温室効果ガス排出量を2019年度比で30%削減すること」を掲げています。

2021年度の「総ごみ量（資源・集団回収量を含む）」は118,988トンで、前年度と比較して2,375トン（2.0%）減少しており、基準年の2019年度と比較すると1,606トン（1.3%）の減少となっています。

2021年度の市民1人1日あたりのごみ量は757グラムで、前年度と比較して18グラム（2.3%）減少しており、基準年と比較すると11グラム（1.3%）の減少となっています。

ごみの内訳をみると、「燃やせるごみ（家庭系）」は、64,674トンで前年度比1,722トン（2.6%）の減少、「事業系ごみ」は17,116トンで前年度比300トン（1.8%）の増加、「燃やせないごみ・粗大ごみ・有害ごみ」は11,098トンで前年度比409トン（3.6%）の減少となっており、事業系ごみは前年度と比較して増加しておりますが、その他の項目は全体的に前年度と比較して減少しています。

2021年度の総資源化率は、31.3%となっており、前年度と比較して0.6ポイント減少しており、基準年度と比較すると0.1ポイント増加しています。

2021年度のごみ焼却による温室効果ガス排出量は、40,938t-CO₂となっており、前

年度と比較して9.3%増加しており、基準年度と比較して、21.2%増加しています。

2021年3月に策定した「第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン」では、「ごみ量5,500トン削減、資源化量700トンを増加」(ごみとして処理する量6,200トン削減)を目指していますが、基準年度である2019年度と比較して1,421トンの削減となっており、進捗率は約22.9%となっています。

第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプランの進捗点検では、5つの基本方針に基づき、各取組施策の進捗状況の確認を実施しました。進捗点検においては、2021年度のごみ量の傾向だけでなく、施策を展開するまでの過程や取り組み内容等を考慮して評価を行いました。

評価の基準は「A」「B」「C」「D」の4段階とし、各委員の評価をもとに、平均値及び意見等を踏まえ審議会としての評価としました。2021年度の進捗点検結果は別紙のとおりです。

2021年度は、2019年度以降増加傾向が続いていた総ごみ量(資源・集団回収量を含む)が減少しました。家庭系の燃やせるごみ・燃やせないごみが減少していますが、事業系ごみは増加しており、新型コロナウイルス感染症の休業要請等が緩和された影響が考えられます。家庭系ごみ、事業系ごみ共に新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられますが、今後も総ごみ量の減少傾向が続くよう、更なる施策の工夫を求めます。

町田市廃棄物減量等推進審議会
2021年度第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン事業計画の評価

＜評価基準＞

- 【A】 ⇒ 大幅に取り組みが進んでいる（引き続き取り組む）
- 【B】 ⇒ 取り組みは進んでいる（もう少し取り組みを強化し進める）
- 【C】 ⇒ 改善（取り組み内容を検証し、効果的に進めるために、施策内容、実施回数、施策のスケジュール等の修正が必要）
- 【D】 ⇒ 新たな取り組みを検討し進めていく

		<p>【基本方針1】</p> <p>市民、事業者との連携を強化し、協働による取り組みを進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面での活動が難しい中、SNS等の取り組みを強化していることは評価できる。 ・市の評価の通り、全体として目標数値とおり実施がなされている。 ・市民との連携や、市民への支援に関して、さまざまな取組を行っており、目標を達成している点が評価できる。
評価	B		今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換、情報提供などを今以上に進めながら、相互に理解を深めていくことを期待する。 ・事業者や地域との連携や支援は、今後工夫を重ねてさらなる取組を行う必要がある。 ・アクションプランにおける実施計画には、より多くの一般市民を参加させるための取組が必要。 ・事業者との協働による取組の推進、地域が行う取組の支援といった他の団体と協力することに課題があるため、積極的にその事業を展開してもらいたい。
		<p>【基本方針2】</p> <p>家庭系ごみの減量を進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成されており、丁寧な啓発活動、支援が行われた。 ・プラスチックごみの発生抑制や資源化については、順調にすすんでいると評価できる。 ・コロナ禍で活動が制限される中、概ね良好に施策を推進できている。
評価	B		今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの量から見ると、生ごみについては大きく増加してしまっており、施策の効果が十分に確認できない。 ・担い手づくり、地域の団体や事業者への支援はなかなかスムーズにいかなかったように思われる。2022年度は、社会状況も変化すると考えられるので、目標が達成できなかった施策について、力を入れて対応する必要がある。 ・子どもを対象とした講座を開催することで、ごみの分別を身近に感じてもらうのではないかな。
		<p>【基本方針3】</p> <p>事業系ごみの減量を進めます</p>	<p>評価理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみの削減率は目標を達成している。 ・各目標値は達成しており、達成していないものはコロナの影響によるもののため。 ・優良事例の表彰は、大変良い取組で実績をあげられている。
評価	B		今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面での活動が難しかったこともあり、重点施策が目標通り実施できなかった点は、今後の改善が求められる。 ・事業者としての市の取組をもっとアピールしてもらいたい。 ・対事業所の施策の目標達成度が低いように見える。感染症問題で仕方がない部分もあるかもしれないが、社会状況は劇的には変化しないと考えられるので、その中で、どのように事業所にアプローチをしていけばよいか、を示してほしい。 ・中小の事業所への周知、啓発が少ない。 ・市から事業者への情報発信を強化すべき。

【基本方針4】 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます		評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいバイオエネルギーセンターが順調に稼働している。 ・収集体制の見直しや資源化品目の拡大について、検討に着手されたことは評価できる。 ・町田市バイオエネルギーセンターにおける先進的な取組をはじめ、資源化施設の整備、収集体制の見直し、ごみの資源化等を大幅に推進できている。
評価	B	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの資源化施設についてはプラスチック新法にどのように対応していくかの検討と合わせて設備整備を行っていただきたい。 ・地区ごとに分別基準が異なるという問題をどのように解決するかを明示すべき。
【基本方針5】 社会的課題への対応を強化します		評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応や今後の高齢化社会への対応など、難しい社会問題にどのように向き合えばよいのかを検討し、一定の取組を行っている点が評価できる。 ・目標とする内容は概ね達成され、2022年度の計画も適切である。災害廃棄物計画、高齢化対応、不法投棄等への対応としては、問題なく実施、計画されている。
評価	B	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これからさらに社会問題が深刻化していくことも考えられるので、常に情報を収集しながら検討し、実践し、改良し、ということを行うことが重要ではないか。 ・災害、高齢化、不法投棄などの社会的な課題について他部署や市民、事業者、関連団体などとの情報交換をより積極的に行うことに期待する。 ・不法投棄や持ち去り行為防止対策の推進といった違法行為に対する施策が不十分であると感じた。